

えがあふれあいたかめあ きらい かがやく あざ二っ子

横浜市立あざみ野第二小学校
学校だより 5月号

第2号 令和6年4月26日発行

学校だよりはホームページにも掲載されています。
学校日記も更新中です。ぜひご覧ください。

青葉区あざみ野三丁目29番地3
TEL 045-902-4866



まずは子どもにとっての「安心」の確立を

校長 大幸 麻理

あざみ野第二小学校の令和6年度がスタートして、1か月が経とうとしています。新しい環境にすっかり慣れて元気に楽しく登校している子、まだ少し不安な気持ちをもちながら、頑張っている子など、子ども達一人ひとりには様々な思いの中で4月を過ごしたことと思います。子ども達の心は表面的には見ることができませんが、子ども達の小さなサインを見逃さず、どの子も安心して過ごせるよう、そして安心して成長していけるよう、全教職員一丸となって指導、支援をして参ります。ご家庭でのお子様の様子で気になる子やご心配なことなど、小さなことでもご遠慮なくご相談ください。

さて、以前私の友人と話していたことです。その友人は、ちょうど下校してきた同じマンションに住んでいる小学生とマンションにエレベーターで乗り合わせました。友人は、「お帰り。〇〇小学校？何年生？」と隣の小学校の名前を出して尋ねたそうです。友人は、いわゆる「近所のおばちゃん」という感覚で尋ねただけなのですが、そのお子さんは、「そういう個人情報知らない人には言うてはいけないと言われてる」と答えたそうです。その話を聞いて、友人と私は、現代の子どもは、危機管理意識が徹底している、と笑い合いました。ただ一方で、そういう世の中で、もう「近所のおばちゃんやおじちゃん」という人が地域の中で存在しにくい時代にもなっていることを実感しました。もちろん、何が起きるか分からない時代なので、そのお子さんがそのように答えたのは周りの大人の言うことをしっかり守って立派なことだと言えます。一方で、子どもを地域全体で見守り育てていく地域の力が発揮しにくい時代であることも痛感しました。

前述したお子さんも、マンションのエレベーター内とは言え、普段話さない人から突然話しかけられてびっくりしたのかもしれませんが、日頃から顔を合わせ挨拶をするような関係性を築ければ、安心して話ができるようになるかもしれません。子ども達にとって、安心できる大人を増やしていきたいなあと強く思います。家庭はもちろん、学校や地域の中で子ども達の安心が、子どもの豊かな成長を支えていくのだと思います。毎朝、子ども達の登校を見守ってくださっている地域の方々や保護者の皆様の関わりも、その一つだと思っています。ありがとうございます。

学校で、子ども達の元気な声が響き合い、たくさんの笑顔が見られると、本当に嬉しくなります。会うと屈託なく元気に話しかけてくる子ども達が本校にはたくさんいます。子ども達にとって、安心して笑顔で過ごせる学校でありたいと願っています。保護者の皆様とも同じ思いで進んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

